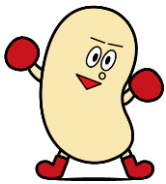


本市の働く世代に向けた取組

【健康づくりパートナー】【健康にやさしいお店】→P. 8、9へ

【鹿児島市慢性腎臓病（CKD）予防ネットワーク】

慢性腎臓病（CKD）は、自覚症状がないため、気づかないうちに症状が進行することが多く、進行すると透析治療や腎臓移植が必要となります。透析になると、週3回、4～5時間拘束され、医療費も年間一人当たり約560万円かかります。



CKD予防ネットワークは、CKDの重症化を予防するため、CKD登録医^{※1}と腎臓診療医^{※2}が連携して治療を行うシステムのことです。（下図参照）
 なお、CKD登録医の一覧は鹿児島市ホームページでご覧いただけます。（下記参照）

- ※1 CKD登録医・・・鹿児島市の特定健診等に携わっている全ての医師のうち、CKD予防ネットワークの趣旨に賛同し、鹿児島市の登録を受けた医師。
- ※2 腎臓診療医・・・日本腎臓学会の認定する腎臓専門医、または、日本透析医学会の認定する透析専門医のうち、CKD予防ネットワークの趣旨に賛同し、鹿児島市の登録を受けた医師。



CKD登録医

※市ホームページ⇒「健康・福祉」⇒「健康・医療」⇒「成人・高齢者の健康」⇒「鹿児島市慢性腎臓病（CKD）予防ネットワーク」⇒「CKD予防ネットワーク登録医一覧」にアクセスするか、左右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



腎臓診療医

鹿児島市CKD予防ネットワーク 概要図

